

テクテクニュース

第91号

発行月 2019 年(令和元年)5 月号

2019年5月下旬から7月中旬の行事は、全国ウォーク妻籠・馬籠ハイクに始まり、三上山清掃登山、山門水源のささゆりとあじさいの森を訪ねるバスハイク、昨年雨天で中止になった深坂古道ハイク、そしてサントリー京都ビール工場見学などを楽しめます。参加される方は、実施日の3日前までに、テクテククラブのホームページ「伝助」又はFAX（077-534-0422 星）で参加・不参加の申込みをしてください。



「三島池（米原市）から霊峰伊吹山を望む」

星 操 さん作

新日本スポーツ連盟滋賀県連盟 びわこテクテククラブ機関紙

発行責任者 長友 善勝

広報部・機関紙編集委員会編

〒520-0047 滋賀県大津市浜大津四丁目 1-1

明日都浜大津 1F 大津市市民活動センター内 15

TEL&FAX 077-521-3946

URL njsf-shiga.sports.coocan.jp（新日本スポーツ連盟滋賀県連盟）

Mail: s5h6zb@bma.biglobe.ne.jp (星 利三)

2019年3月度例会 一般コース

主催：びわこテクテククラブ

梅見 梅小路公園

参加者：吉本、小林夫婦、鈴木、橋田
塚本、船橋、井上、村田、田中、川嶋
久古、西村、前嶋、小嶋、林田夫婦
大工、伊藤、川辺、吉田

(リーダー：吉本) 計21名

日時：2019年3月9日(土) 晴れ

あしあと

○快晴の9日10時30

分に京都駅八条西口に全員集合し、すぐ出発する。東寺の五重の塔を前に、横に見ながら広い境内を歩く。ある人が“ここで迷ったら見つけられないよ”と。先人を見落とさないよう付いて行く。

十一面観音をはじめ、三面大黒天（一度に拝めます。大地の神）、矢取地藏尊、羅城門跡（源氏物語ゆかりの地）、六孫寺（源氏神社）。毘沙門天（四天王の北の守り神、財産を司る）、弁財天（インドの河の神、弁舌・音楽・芸芸上達の神）。

正午に梅小路公園で昼食となる。さすが春、水族館、鉄道博物館もあり、親子づれ、カップルと多くの人で溢れている。花は梅（白、赤、ピンク・・・一重、二重、大、小）、椿、雪柳、沈丁花、ボケ、アセビ、早咲き桜、たんぽぽ等、ゆっくり楽しんだ。

午後1時30分～2時、街中を通り、京都駅で解散となる。久しぶりの参加で暖かい、楽しい一日であった。

(MY記)



大阪上町台地とコリアンタウンをウォーク

参加者: 吉田、小林、鈴木、船橋
橋田夫婦、松尾、疋田夫婦、安東
久古、西村、前嶋、川辺、田中
(リーダー: 吉田)

会員 14、一般 1 名 計 15 名

日時: 2019 年 3 月 17 日(日)

曇り時々小雨

あしあと

○10 時頃、天王寺公園で準備運動中に天気予報より早く雨が降り出し、皆さんそれぞれにカッパやリュックカバーを着用し、寒い雨の中のウォークとなりました。



大阪五低山のひとつ茶臼山に登頂。頂上には、大阪の陣で徳川家康や真田幸村の本陣が置かれるなど特別な舞台となった立て札がありました。10 時 30 頃、一心寺の参拝休憩所で茶臼山標高 26m の登頂証明書をゲットしました。

安居天神(真田幸村戦士跡碑)、愛染堂(愛染祭は大阪夏まつり幕開けで、境内の多宝塔は素晴らしかった)、清水寺(大阪一の滝「玉出の滝」)を眺めました。そして都会の墓地を散策して上町台地から、鶴の橋史跡、桃谷を経てコリアンタウンに到着

し、御幸森公園で昼食となりました。

昼食後、私たちはコリアンロードを見つつ、コーヒータイム。雨の中でしたが楽しい 1 日でした。皆さんお疲れさまでした。大阪ウォーキング協会の皆さん、ありがとうございました。総勢 87 名の参加でした。(橋田久美子記)

写真: 下左 玉出の滝、下右 コリアンタウン



2019年3月度 種目別交流会

主催 新日本スポーツ連盟滋賀県連盟

参加者：吉田、井上、川金、吉本
長友、永見、星夫婦、田中

会員8名、一般1名 計9名

他協議会から7名

日時：2019年3月21日(木・祝)

あしあと

○今回の種目別交流会は、テクテククラブが担当で、雨でも開催できるボーリング大会をすることに。バドミントン・卓球・ランニング・ウォーキングのメンバー16名が参加しました。(スキー・テニス・野球協議会は参加なし)

「エースレーン草津」で汗を流し、1位はバドミントンの田辺さん。2位はテクテククラブの長友さん(拍手)、3位は卓球の今井さんでした。(以下省略)

食事会は、隣のお好み焼き・焼きそばの「わらい」へ。食事をしながら、参加者の自己紹介を行い、各クラブ間で楽しく交流しました。今回の賞品は参加者全員に。賞品は気にいってもらえたかな？

来年・県連盟は50周年を迎えます

主催者を代表しての県連盟から、次のようにあいさつがありました。

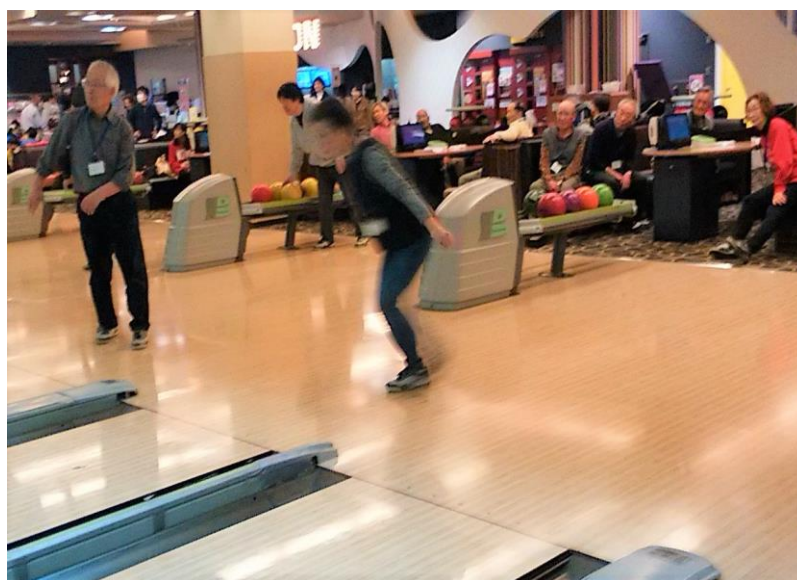
第一に「最初の頃は事務所を借りるのに家賃をどこから払うのか。電話代はだれが払うのか苦労しました。今では浜大津の市民活動センターで、運営できるようになりました。

第二は、施設の確保という点で野球・卓球・バドミントン・テニスクラブが、皇子山公園施設で年間調整会議という制度の中で利用でき、クラブを発展させてきました。

第三は、人づくりです。今回三つのクラブが参加できませんでした。これは県連盟の課題です。組織を確立するうえで人を大切にしていきたいと思います。(星 操記)



写真：
ボーリング大会



2019 年 4 月度例会 お花見 一般コース

主催 びわこテクテククラブ

木津川背割堤ウォーキング

参加者: 園田、長友、鈴木、吉本

塚本、安東、井上、松尾、二木、川嶋星み、
西村、前嶋、小嶋、平尾、川辺伏木、疋田夫
婦、岡野、木邨

(リーダー: 園田)

会員 19 名、一般 2 名 計 21 名

日時: 2019 年 4 月 2 日(火)

曇り時々しぐれ

あしあと

○テレビニュースの桜だよ

りを聞きながら、今日は三分か四分か、あるいは五～六分かと思い、J R 山崎駅をスタートする。

大山崎の迷路の道路網に見事、迷える小羊? あっちかな? こっちかな?。さすが年の功、見事背割堤に到着する。強風に背を押してもらい、桜並木が歓迎してくれた。六～七分咲き、ぜいたくを言えば、青空が迎えてくれれば絶好調だが、パラッ、パラッと雨が迎えてくれた。

何はともあれ、京阪八幡市駅に着き、健康を祝し、近くの居酒屋兼食堂でチョイと一杯。ほろ酔い気分で帰路に着く。リーダーのお陰で今日も一日、無事に元気であった。

(Mr. O 記)



昨年の 21 号台風
で桜の木が、沢山被
害に遭い痛ましい風
景が、残されていま
した。 ↓

← 屋食後、みんな
で輪になって
脳トレゲームを
楽しむ。



2019 年 4 月度例会 健脚コース

主催 びわこテクテククラブ

京都 醍醐寺ウォーキング

参加者: 園田、川辺、鈴木、村田、小林
疋田、大工、船橋、二木、林田、前嶋
小嶋、久古、伊藤、松尾、山田、脇
(リーダー: 川辺)

会員 15 名 一般 2 名 計 17 名

日時: 2019 年 4 月 20 日(土) 晴れ

あしあと

○ J R 山科駅に 17 名が集合し、地下鉄で醍醐駅にて下車。川辺さんの案内で西国 11 番の札所である醍醐寺を横目に通り返り、山の入口へと進みました。

入山料 600 円を払い山道を 20 分ほど登ると、秀吉が 700 本の桜を植えたという「檜山」の前を通り、さらに、はば広い階段を登って行きました。いつまでこの階段は続くのかなどとおしゃべり、何度か水分補給をしながら、国宝や重要文化財の諸堂をめぐる山頂の開山堂(重要文化財)広場に到着。そこで少し遅めのお昼にして、皆さん満腹でゆっくり休みました。

春霞の中、遠くアベノハルカスも見えました。帰りは同じ道を下山。道中、たくさんの人々に出会い、挨拶を交わしました。標高 454m の山も、帰りは足取りも軽く、朝のしんどさは感じませんでした。醍醐山は、階段の多い山というのが私の印象でした。

(園田寿美子 記)



写真: 上 2 枚 開山堂での昼食風景、下 仁王門前での集合写真

○ 新会員紹介 伏木 加津子 さん

4月2日のお花見例会に参加させて頂き、とても楽しいひと時を過ごす事が出来ました。普段は車で移動が多く運動不足ですが、皆様と季節を感じつつ、ウォーキングを楽しめたらと思っています。？年前還暦の記念に屋久島の縄文杉まで行き、とても良い思い出になりました。その時買ったトレッキングシューズをまた履いて、色々な所を歩いて見たいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



○ 談話室 高木 寿治 さん

ひょんなことから、昨年度から会計を担当しています。テクテクの例会は、どれも参加したいのですが、『ぜぜ健康友の会』のこともしていますので、その行事や私用やらかち合って、なかなか参加できていません。去年は、健診で不整脈が見つかり、そのお陰であと1～2ヶ月ほっておいたら確実に死ぬと医者に言われた血栓が偶然見つかり、命拾いました。そこで死んだ思い、残りの人生を悔いなく楽しく、愉快に過ごしたいと思っています。そのためには、テクテクの皆さんと一緒に歩くのが一番です。がんばって参加します。



テクテクニュースはモ/クロ印刷ですが、インターネットで
と綺麗なカラー写真で見られますよ。ぜひご覧あれ。



<編集後記>

4月1日に新元号の発表、そして5月から「令和元年」です。「昭和も遠くなりにはけり」の感ですね。元号には賛否両論あるところですが、改元を節目として心新たに暮らす日本人の知恵でしょうか。出典が万葉集で日本の誇る古典が注目されることも喜ばしいことです。新元号の下、和やかな気持ちで歩きたいと思います。(KH)